

「支え合う地域づくりのために」

つながる



広がる

#8

「子どもたちの声が元気の素」

中北史郎さん（百済区）



今回は、百済区内で、子どもたちの安全な登校を見守る立哨活動を10年以上にわたって続けている中北史郎さんにお話を伺いました。

中北さんが立哨活動を始めたのは、まだ会社に勤めていた頃で、当時は月に3回程度の活動でしたが、退職してからは毎朝立哨されています。

「行つてらっしゃい！」と声をかけると、「行つてきます！」と元気な笑顔で答えてくれる子どもたちに、毎朝元気をもらっています。

卒業する小学生からお礼の手紙を貰うこともあり、「嬉しくて、これからも頑張ろうという気持ちが湧き上がりますね。高校生や大学生になっても『中北さん、こんにちは！』と声をかけてくれる子もいるんですよ」と笑顔で話されていました。

体調が悪くて立哨を休んでしまった翌日には「昨日はい

なかつたね」と子どもたちから心配されることもありま

す。毎日顔を合わせているので、ほとんどの子どもと顔見知りだとおっしゃる中北さん。

「地域の中で“顔見知り”がいると、子育て中の親御さんは安心されるんじゃないでしょうか。“顔見知り”の輪が広がれば、より安全で安心できるまちになっていくと思うんですよ。」と話されました。

また、「地域のためにできることは、まだまだあると思うんです。地域の方々と協力して、子どもたちと一緒に遊んだり、宿題を見たりね。子どもと大人が交流できる場が作ればいいなと考えています。」と、地域に対する熱い思いをお話いただきました。

『広報こうりょう』第32回近畿市町村広報紙コンクール「優秀賞」受賞

問 秘書人事課 ☎内線 1215

毎日新聞社主催「第32回近畿市町村広報紙コンクール」の審査結果が発表され、『広報こうりょう』2019年10月1日号が「優秀賞」に選ばれました。75団体の中から、「優秀賞」をいただけたのも、地域で頑張る皆さんのおかげです。今後も、住民の皆さんのいきいきとした活動を取り上げていきます。



↑いただいた表彰状と盾

